

製品名: グランザイム A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11739**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	GZMA
別名	GZMA; CTLA3; HFSP; Granzyme A; CTL tryptase; Cytotoxic T-lymphocyte proteinase 1; Fragmentin-1; Granzyme-1; Hanukkah factor; H factor; HF
遺伝子 ID	3001.0
SwissProt ID	P12544
免疫原	抗血清はヒト GRAA 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 61-110

背景

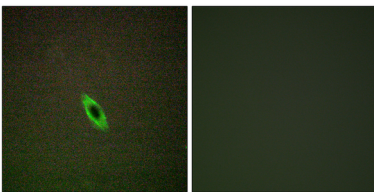
細胞傷害性 T リンパ球 (CTL) とナチュラルキラー細胞 (NK) は、特定の標的細胞を認識し、結合し、溶解するという優れた能力を

共有しています。これらの細胞は、表面に「非自己」抗原（通常は細胞内病原体による感染によって生じたペプチドまたはタンパク質）を担う細胞を溶解することで宿主を保護すると考えられています。ここで説明するタンパク質は、T細胞およびナチュラルキラー細胞特異的なセリンプロテアーゼであり、細胞傷害性Tリンパ球およびナチュラルキラー細胞による標的細胞の溶解に必要な共通成分として機能する可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: フィブロネクチン、IV型コラーゲン、ヌクレオリンなどのタンパク質の加水分解。優先的な切断: 低分子基質において、-Arg-|-Xaa-, -Lys-|-Xaa- >> -Phe-|-Xaa-。機能: この酵素は、細胞性免疫応答における標的細胞の溶解に不可欠です。LysまたはArgの後ろを切断する。アポトーシスに関与する可能性がある。類似性: ペプチダーゼS1ファミリーに属する。グランザイムサブファミリー。類似性: ペプチダーゼS1ドメインを1つ含む。サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。,

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



GRAA抗体を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。